

【難解 小林秀雄には 恒存の関係論が最適】

《小林評論『感想』(正宗白鳥作品):[感想VI]》:主題「退屈な生活(物:場 C')のヴィジョン[展望・指標(物:場 C')]化」

【白鳥著『牛部屋の臭ひ』】

* ①陰気な暗い人生圖(物:場 C')②自然の單純な姿(物:場 C')③魅力ある風景畫(物:場 C')④ヴィジョン[展望・指標(物:場 C')]⇒からの關係:①を強い④で②③へと⑤創造(D1の至大化)⇒登場人物:⑥慘めな女三人(創造的概念:F)⇒⑥に生き生きとした夢を保持化⑦(Eの至大化:⑥の用法・距離把握)⇒作者(正宗白鳥△粹):①への適應正常。

【白鳥著『入り江のほとり』】

* ①肉親達の退屈な無味な生活(物:場 C')②作者自身の姿(物:場 C')③深い自己(物:場 C')④記憶(物:場 C')⑤ヴィジョン[展望・指標(物:場 C')]⇒からの關係:①を⑥『憎しみも愛もなく顧みた』(觀察眼:D1の至大化)。⑥の對象は②と③でもあつた。③は詩を信じない詩人[⑥を持つ人(△粹)]のみが捕らへる(D1の至大化)⑤⇒⑦鳴らないヴァイオリン(⑥的概念:F)⇒⑦の音が作品①を領してゐる(⑦の用法・距離把握:Eの至大化)⇒『詩を信じない詩人』(白鳥△粹):①への適應正常。

